

所属・資格 社会学科・准教授

申請者氏名 濱本 真一

研究課題		教育機会の階層間格差の理論と実証
報告の概要	研究目的 および 研究概要	本研究は出身階層間の教育格差に着目し、その発生原理を説明できる理論モデルの構築を目指す。日本の教育は戦後急速に拡大したが、地域的な差異や選抜の質的变化などの課題を残したまま複雑な構造を示すようになった。社会調査データを用いて格差の存在を発見する手法は、教育格差が「なぜ発生するのか」という問いに関して有力な答えを示すことはできない。本研究では、数理社会学の方法を用いて、出身階層間の教育格差が、地域的な教育供給量の違い、教育達成過程上の進学トラックの分化などの制約を受けながら、どのように生じるのかを説明する<理論モデル>の構築を試みる。これまでの教育格差研究の中で提示されてきた5つの理論仮説を数学的に表現し、それらが持つ特徴と、日本の教育システムの特徴を兼ね備えた統合モデルを作成する。
	研究 の 結果	本研究は出身階層間の教育格差に着目し、その発生原理を説明できる理論モデルの構築を目指す。日本の教育は戦後急速に拡大したが、地域的な差異や選抜の質的变化などの課題を残したまま複雑な構造を示すようになった。本研究では、数理社会学の方法を用いて、出身階層間の教育格差が、地域的な教育供給量の違い、教育達成過程上の進学トラックの分化などの制約を受けながら、どのように生じるのかを説明する<理論モデル>の構築を試みる。今年度は主に教育の地域差に着目し、学校基本調査の時系列データを用いて、従来の相互作用モデルでの大学進学機会の地域格差の説明が十分に機能しないことを示した。
	研究 の 考察・ 反省	昨年に引き続き、教育格差研究において重要な要素となる地域間の教育格差について、中等教育機会に生じる不平等に着目しながら地域経済変数の作成方法を工夫した分析モデルについて検証した。学会報告にて、新変数が持つ性質に関するいくつかのを指摘された。今後の研究ではモデルの細部を調整しながら、理論・実証面での補完を試みる。
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所 研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 濱本真一, 2024, 「中学受験プロセスの階層差・地域差」日本教育社会学会第76回大会, 信州大学, 2024.09. ● 濱本真一, 2024, 「国私立中学校選択の階層差と地域差——受験意思決定から進学まで」東北社会学会第70回大会, 岩手県立大学, 2024.07. 	